

Microsoft Education



世界標準・社会人標準のICT環境でグローバルに活躍する人材へ

Microsoft 365 Education 活用法 中級編 1. ビデオリンク集

製品	タイトル	概要	URL	一斉学習	協働学習	個別学習
Teams for Education	【はじめての Teams ①】 Teams for Educationの概要	Teams によって作成できるデジタル教室のイメージを深めていただくと同時に、各機能の概要について動画を用いてご説明します。	https://education.microsoft.com/ja-jp/course/5e82da24/0	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	【はじめての Teams ②】 チーム/チャンネルの作成 メンバーの追加	Teams によるデジタル教室を作成するための、チームやチャンネルの作成・メンバーの追加について、動画を用いてご説明します。	https://education.microsoft.com/ja-jp/course/7e2514a6/overview	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	【はじめての Teams ③】 チーム / チャンネルの使い方	Teams によるデジタル教室を作るための、ファイルの共有と共同編集について動画を用いてご説明します。	https://education.microsoft.com/ja-jp/course/c8776bd5/overview	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	【はじめての Teams ④】 遠隔会議の設定 / 通知・在籍 管理	Teams の会議の設定方法について動画を用いて説明します。 会議機能を活用し、遠隔会議や授業を行うことができます。 また Teams を活用する際の通知とプレゼンス（在席情報）の設定についても説明しています。	https://education.microsoft.com/ja-jp/course/4d8f5e89/overview	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	【はじめての Teams ⑤】 課題と評価機能	Teams 上での児童・生徒・学生との課題のやり取りや評価やフィードバックについて、動画を用いてご説明します。	https://education.microsoft.com/ja-jp/course/911a4f67/overview	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	Teams for Education 授業での活用	Teams を授業で利用する際の Office 365 のテナント取得方法、アカウントの登録、Teams の利活用について説明しています。	https://www.education.microsoft.com/ja-jp/resource/647fbbe0	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	Teams for Educationで ライブイベントを開催する	Teams ライブ イベントは Teams 会議の拡張機能であり、多数のオンラインユーザーにストリーミングするイベントをスケジュールして生成することができます。	https://www.education.microsoft.com/ja-jp/resource/3db1bf60	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

製品	タイトル	概要	URL	一斉学習	協働学習	個別学習
Teams for Education	Teams と Office 365 でつながりを維持する	遠隔学習とオンライン学習の違いを理解するために、遠隔学習プランの作成時におけるさまざまな考慮事項を確認し、学びを止めずに、児童・生徒・学生とつながる方法を説明します。	https://education.microsoft.com/ja-jp/course/6e0d2ce4/overview	○	○	○
Microsoft Forms	【はじめての Forms ①】 概要・質問設定編	Forms の概要説明と、授業での活用例、実際に質問を設定する方法をご紹介します。Forms は、アンケート、クイズ、小テスト、投票など簡単に作成することができます。また回答する側はマルチデバイスで回答可能です。教育現場では、今まで紙で行っていたようなアンケートや、テストなどを即時に集計することができます。	https://education.microsoft.com/ja-jp/learningPath/60d68bde/course/bcc50bc4/overview			○
	【はじめての Forms ②】 クイズ編	教育現場で、今まで紙で行っていたようなアンケート、クイズ、小テスト、投票などを Forms では、簡単に作成することができます。本コースでは、小テストをデジタル化する方法についてご紹介しています。	https://education.microsoft.com/ja-jp/learningPath/60d68bde/course/33092ef2/overview			○
	【はじめての Forms ③】 プレビュー・共有・詳細設定編	本コースでは、作成した Forms の設定や共有・公開方法、質問の分岐設定・セクション分けについてご紹介しています。	https://education.microsoft.com/ja-jp/learningPath/60d68bde/course/9d4f2a5a/overview			○
	【はじめての Forms ④】 まとめ編	授業がよりインタラクティブに！ Forms で集計結果がすぐわかる！ 選択式/記述式、単一解答/複数回答など柔軟な質問設定、テスト作成に便利な配点設定など、これまでのテスト/アンケート作成の柔軟性はそのままに、煩雑になりがちな配布、回収、集計の一連の流れをよりスムーズにします。	https://education.microsoft.com/ja-jp/learningPath/60d68bde/course/ad9d7c5c/overview			○
Microsoft OneNote	【はじめての OneNote ①】 OneNote の概要と操作	OneNote は自由に書き込んで記録できるデジタルノートです。ただ、テキストを入力するだけでなく、画像や図形・表・手書き文字・リンクや動画などの様々な情報を自由自在に書き込むことができ、無償で使用することが可能です。本コースは、初めて OneNote を初めて使用される方向けです。	https://education.microsoft.com/ja-jp/learningPath/60d68bde/course/94a610d0/overview		○	○
	【はじめての OneNote ②】 OneNote Class Notebook の活用	OneNote Class Notebook は、学校での利用を想定して開発された OneNote の追加機能です。OneNote で作成したページを児童生徒の OneNote に配布したり、児童生徒の OneNote 上での作業を先生のパソコンから参照することも可能です。	https://education.microsoft.com/ja-jp/learningPath/60d68bde/course/5c0cd3dd/overview		○	○

製品	タイトル	概要	URL	一斉学習	協働学習	個別学習
Microsoft OneNote	【はじめてのOneNote ③】 学習ツールの活用	OneNote「学習ツール」は主に言語を学ぶ学習者向けに開発された、無料で使えるOneNoteの追加機能です。テキストの音声読み上げを始め、テキストの文字間隔や背景色の調節、音節や品詞の表示による文法学習などを行うことができます。特に英語の読み上げは非常に流暢であることから、授業内や試験においてこの音声を利用されています。	https://education.microsoft.com/ja-jp/learningPath/60d68bde/course/5fab0c50/overview		○	○
Microsoft PowerPoint	【はじめてのPowerPoint】 教材作りに役立つ活用シナリオ	PowerPointの機能、特に様々なコンテンツを挿入したり、翻訳、画面録画する方法など、教材作りに役立つ機能について詳しく説明しています。PowerPointはプレゼンテーションソフトウェアで教育現場でも教材として多く活用されているソフトです。児童・生徒が共同作業で1つのプレゼン資料を作成することも可能です。	https://education.microsoft.com/ja-jp/course/3c518f6d/overview	○	○	○
	【はじめての Windows 10 ①】 Microsoft Whiteboardの使い方	Microsoft Whiteboardはフリーフォームのデジタルキャンバスです。簡単に使えて、創作は自由です。どこからでもリアルタイムに共同作業ができます。遠隔授業やオンライン授業でも活躍します。ホワイトボードのデータは、クラウドに保存されどこからでも作業の続きが可能です。	https://education.microsoft.com/ja-jp/course/a86eab3c/overview	○	○	
Windows 10	【はじめての Windows 10 ②】 カメラアプリの使い方	Windows 10の標準機能・カメラアプリについてご紹介しています。静止画から動画・パノラマ写真まで撮影可能です。また、ドキュメントなど撮影対象に合わせた撮影が可能です。	https://education.microsoft.com/ja-jp/course/aa89b6a1/overview	○	○	○
	【はじめての Windows 10 ③】 Office Lensの使い方	黒板に書いた内容や手書きの書類などをわかりやすく保管しておきたい。既存の資料から文字を起こして書類作成の時間を短縮させたい。Office Lensはタブレットやスマートフォンで撮影した黒板や資料を、後で振り返りやすい形式で保存するための手軽なスキャナアプリで、撮影した写真がトリミングなどによってきれいに整形されます。	https://education.microsoft.com/ja-jp/course/2e1e4ee4/overview	○		○
インクルーシブ教育	【インクルーシブ教育 ①】 ICTに学びを救われる子はあなたのそばにいる	ICTを活用したインクルーシブ教育の実現を目指して研究・実践を進められている 東京学芸大学附属小金井小学校 の鈴木秀樹先生、佐藤牧子先生によるスペシャルセッションです。	https://www.education.microsoft.com/ja-jp/course/75a4c878/overview	○	○	○
インクルーシブ教育	【インクルーシブ教育 ②】 読みを支援するテクノロジー	今日、全国の小中学生の約6.5%が、学習面または行動面で著しい困難を示していると言われています。困難を感じる点については「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」など様々な点がある中で、本コースでは「読む」に注目し、教室で使える読みを支援するツールについて学習します。	https://www.education.microsoft.com/ja-jp/course/3b691939/overview	○	○	○

製品	タイトル	概要	URL	一斉学習	協働学習	個別学習
高学年編 活用方法	Word・Excel・PowerPointで共同編集	Office 365は簡単に共同編集・自動保存の環境を作成可能です。ファイル共有も簡単で、メールでやり取りをする必要がありません。	https://youtu.be/vlbmzS67DyU		○	○
	OneNoteで全てを一元管理	OneNoteでノートも資料も一元管理！PDFをプリントとして取り込めば何度でも回答可能、カメラ機能で黒板も記録できます。	https://youtu.be/-B-4NgHBZFE		○	○
	OneNoteの録音機能	OneNoteの録音機能を使えば、授業やセミナーの内容をノート上に録音可能。録音時にタイピングした文字とも連携されているので、復習の効率が上がります。	https://youtu.be/nFi-NeERqSA			○
	スマホとPCの連携	同じアカウントでログインするだけで、PCとスマホで同じ情報を共有できます。資料だけでなくWebサイトや履歴も共有可能なのでスキマ時間を有効活用できます。	https://youtu.be/xSyphuVtgNg			○
	AIデザイン機能でスライド作成	最新のPowerPointでは、AIがスライドのデザインを提案してくれたり、3Dモデルを使ってよりリアルなスライドを作成することが可能です。	https://youtu.be/wjjinL1bXuI	○	○	○
	PowerBIでデータ分析とグラフ作成	データ分析・可視化ツールのPowerBIにデータを取り込むだけで、一瞬でデータ分析をしたり様々なグラフにまとめてデータを可視化することができます。	https://youtu.be/ptbp-INgGfQ	○	○	○
	Teams for Educationを使ってコミュニケーションを円滑に！	チャット・資料共有・協働編集・アンケート収集・ビデオ共有など、すべてを一つのアプリ上で完結させることができます。	https://youtu.be/azMXfUjPxUM	○	○	○
	Windows 10のおススメ機能	生体認証機能のWindows Helloや、近距離共有機能など、Windows 10には便利な機能がたくさんあります。	https://youtu.be/QikdWrFgqZE	○	○	○
	パソコンでも手書き入力！	Windows 10はタッチ操作・ペン入力可能なOSです。Word・PowerPointなどに直接書き込むのはもちろん、書き込んだ文字をAIの力を使ってデジタル文字に変換することも可能です。	https://youtu.be/4kuApXhg4zg	○	○	○
	OneDriveを活用して学習効果を最大化！	OneDriveを使えば、パソコンの容量を効率的に使えるだけでなく、同じファイルを複数デバイスで簡単に編集できます。	https://youtu.be/1xGJ_TPtjfg		○	○

製品	タイトル	概要	URL	一斉学習	協働学習	個別学習
事例	【事例】 卒業式をライブ配信！ 立命館小学校	Teams Live イベント機能で卒業式をライブ配信。また、動画配信でいつでも、どこでも、何度でも学べる、新しい学習環境づくりを実践。	https://www.microsoft.com/ja-jp/biz/education/default-educator.aspx	○	○	○
	【事例】 うちの学校でもできた！ つくば市立学園の森義務教育学校 (生徒編)	分散登校でも Teams オンライン授業でクラスがひとつに。新しい学び方の導入に挑戦。	https://www.microsoft.com/ja-jp/biz/education/default-educator.aspx	○	○	○
	【事例】 「先生は忙しい」 は変えられる？ つくば市立学園の森義務教育学校 (先生編)	職員会議・教材共有をオンラインでスマートに。先生の働き方改革実践。	https://www.microsoft.com/ja-jp/biz/education/default-educator.aspx	○	○	○
	【事例】 遠隔教育での Office 365 運用管理の工夫と苦労	足立学園中学校・高等学校 の杉山 直輝先生が登壇。遠隔教育を実現するまでの現場のストーリーを話してくださいました。	https://education.microsoft.com/ja-jp/learningPath/60d68bde/cou/rse/54cc8c1d/overview	○	○	○
	【事例】 学校再起動 - Teams が活性化 する学びとコミュニケーション	このビデオは、 東京学芸大学附属小金井小学校 の鈴木秀樹先生と佐藤牧子先生が登壇されたセッションを、オンライントレーニングとして再構成致しました。	https://education.microsoft.com/ja-jp/learningPath/60d68bde/cou/rse/eb8829f5/overview	○	○	○
	【事例】 国語・算数・理科における Teams の活用	東京学芸大学附属小金井小学校 が 4 月から運用が本格化した Teams の活用を軸としたオンライン教育の実践についてのご紹介。テーマの「“Face to Face” の教育から、学びの“Side by Side”へ」とは、どのようなコンセプトなのか。ICT が専門ではない、国語・算数・理科の各教科教育研究の専門家の先生たちが、Teams を活用してどのように子どもたちの学びを引き出しているのかを、ご紹介します。	https://education.microsoft.com/ja-jp/learningPath/60d68bde/cou/rse/80e94dbf/overview	○	○	○
	【事例】 一斉休校で Teams がつないだ 学びのライフライン	千葉大学教育学部附属小学校 のオンライン授業の導入事例として、前半は、短期間の中でどのように導入まで進めることができたのか、後半は運用を始めてみた後の実践についてお話いただいております。	https://education.microsoft.com/ja-jp/course/890d4ab7/overview	○	○	○

2. 学びを止めない提案

GIGA スクール端末を活用した持ち帰り学習の実現



Windows OS における安心・安全な活用について



[学びはだれにも止められない - ICT で今すぐできること - \(microsoft.com\)](https://www.microsoft.com/ja-jp/education/giga)



オンライン授業成功のためのヒント 10

Teamsを使ったオンライン授業に役立つヒント集です。離れた場所でも子どもたちと「つながる」を実現するための機能やポイントを紹介します。

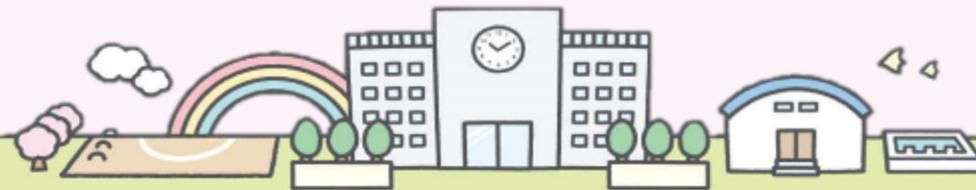


GIGAスクールですぐに使える持ち帰りヒント 10

子どもたちの継続した「学び」を実現するための、ヒント集です。宿題の配布や家庭と学校との連絡方法など、持ち帰り学習での活用例を紹介します。

オンライン授業成功のためのヒント 10

1. 授業を予定する
2. 授業を開催する
3. 授業に参加する
4. 出席を確認する
5. 授業を記録（録画）する
6. 先生の画面を提示する
7. 手を挙げる
8. 録画した授業を公開する
9. グループで話合う
10. ビデオの背景を変更する



オンライン授業成功のためのヒント

01

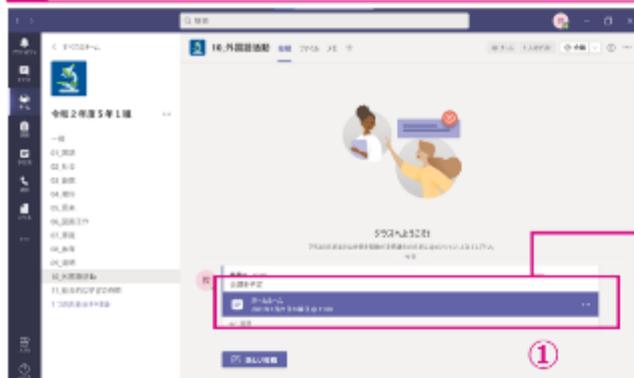
オンライン授業の予定を作る

時間割のようにあらかじめオンライン授業をスケジュール設定しておくことで、児童・生徒も参加しやすく、また管理も便利です。

- 1**
- ① 会議の予定を表示したいチャンネルを選択します。
 - ② 右上の[会議] > [...] > [会議をスケジュール]をクリック。



- 3**
- 選択したチャンネルの[投稿]にスケジュールした授業名が表示されます。参加する場合は、授業名をクリックして参加します。



- 2**
- [タイトル]、時間を設定し、[送信]をクリック。



ポイント！

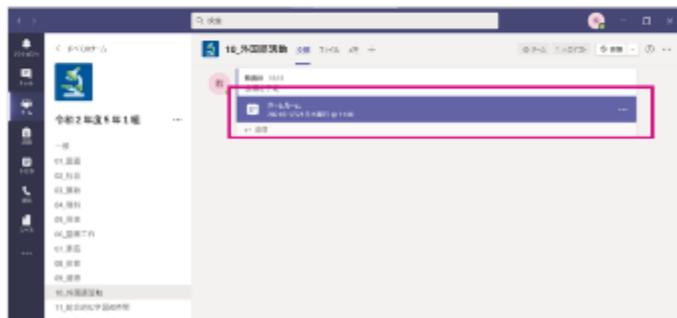
予定表にビデオ会議を作成しても、予定時刻に会議が自動開催されません。時刻になったら、参加メンバーの誰かが、会議を開始します。また、予定した時刻にならなくても「今すぐ参加」をクリックすることで、予定を前倒して会議を開始することもできます。



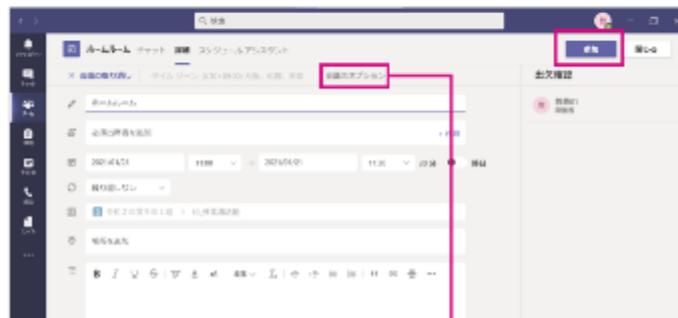
02 授業を開催する（教員の操作）

予定した授業（会議）に参加します。

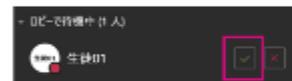
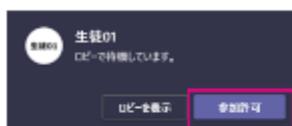
1 スケジュールした授業（会議）をクリック。



2 [参加]をクリック。



3 ① カメラのオン/オフを設定します。
② [コンピュータの音声]をクリックし、マイクのオン/オフを設定します。
③ [今すぐ参加]をクリック。



名前を確認し、許可します。

ポイント！

初期設定では、教員が参加していなくても、児童・生徒が授業に参加できてしまいます。教員が必ず参加した授業を開催したい場合は、[会議のオプション] > [ローンを迂回するコピー] を「自分のみ」に設定してください。児童・生徒が参加するとスピーチ権になります。

03 授業に参加する（児童・生徒の操作）

予定した授業（会議）に参加します。

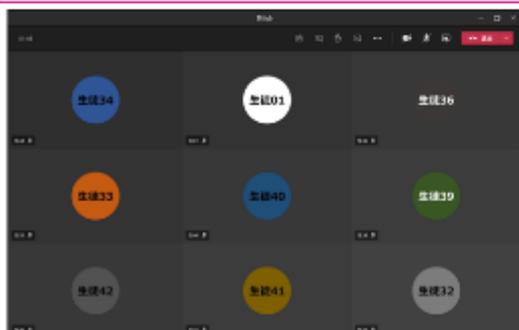
1 ① 既に先生が授業に参加している場合、チャンネルの授業名のところに[参加]が表示されています。
② [参加]をクリック。



2 ビデオのオン/オフ、マイクのオン/オフを確認し、[今すぐ参加]をクリック。



3 会議に参加ができました。

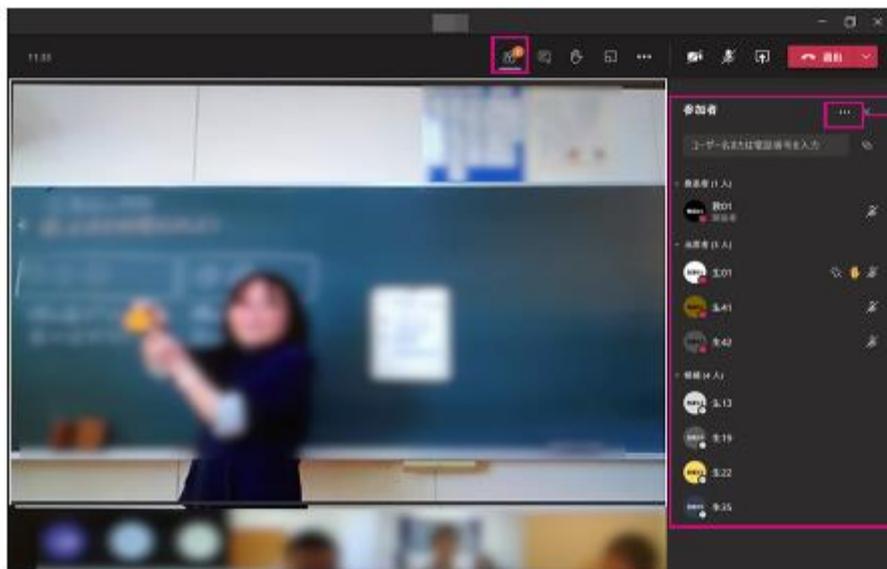


※多人数が参加する授業の場合、マイクはオフで参加することをお勧めします。発表が許可されたコピーだけが、自分でマイクをオンにして話すを授業がスムーズに進みます。

04 出欠を確認する

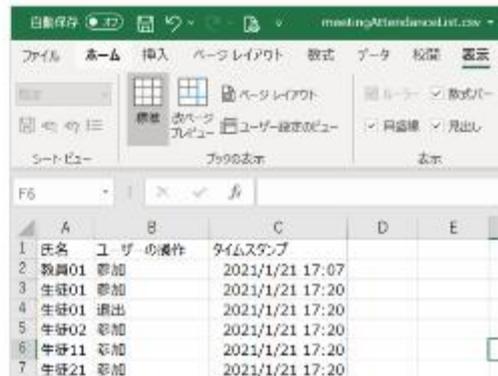
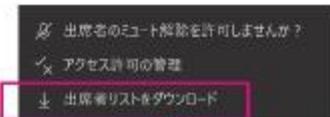
授業の参加者を確認します。

1 [参加者を表示] から参加者の確認を行うことができます。



ポイント!
先生も授業から退出してしまうと、出席者リストのダウンロードが行えなくなってしまいます。[出席者リストのダウンロード]を行う場合は、必ず、[退出]前にダウンロードの操作をしてください。

2 [参加者を表示] > [...] > [出席者リストをダウンロード]から授業の参加時間、退席時間のリストをダウンロードすることができます。

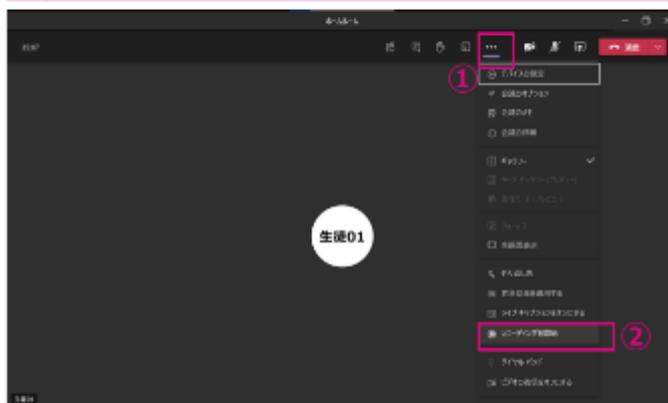


[meetingAttendanceList.csv]という名前でダウンロードされます。

05 授業を記録（録画）する

授業を録画することができます。ネット環境が悪くて、聞き取りづかった場合や、後から再度復習をしたい場合などに便利です。

1 会議ツールバーの[...] > [レコーディングを開始]をクリック。



2 録画を始めると、録画を開始した人、授業に参加している人それぞれに下記メッセージが表示されます。

【録画を開始した人】

▲ 録画中です。この会議をレコーディングしています。必ず全員にレコーディングされていることを伝えてください。 [フィードバック](#) [閉じる](#)

【授業に参加している人】

▲ レコーディングを開始しました。この会議は録画されています。参加することにより、この会議で録画されることに同意するものとします。 [フィードバック](#) [閉じる](#)

ポイント!
児童・生徒の顔が録画されるのが止めたい場合は、児童・生徒にカメラをオフにするよう指示してから、録画を開始してください。

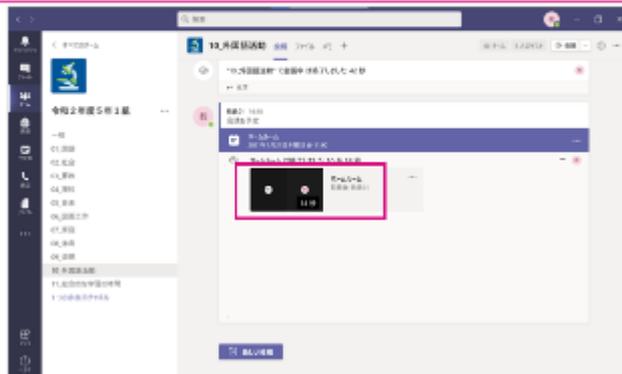
3 レコーディングを終了する場合は、会議ツールバーの[...] > [レコーディングを停止] > [レコーディングを停止]をクリック。



レコーディングを停止しますが?
この会議は録画されています。停止しますか?

[キャンセル](#) [レコーディングを停止](#)

4 録画したデータは、授業を予約したチャンネルの[投稿]タブにサムネイルで表示されます。サムネイルをクリックするとレコーディングされた動画の視聴が行えます。



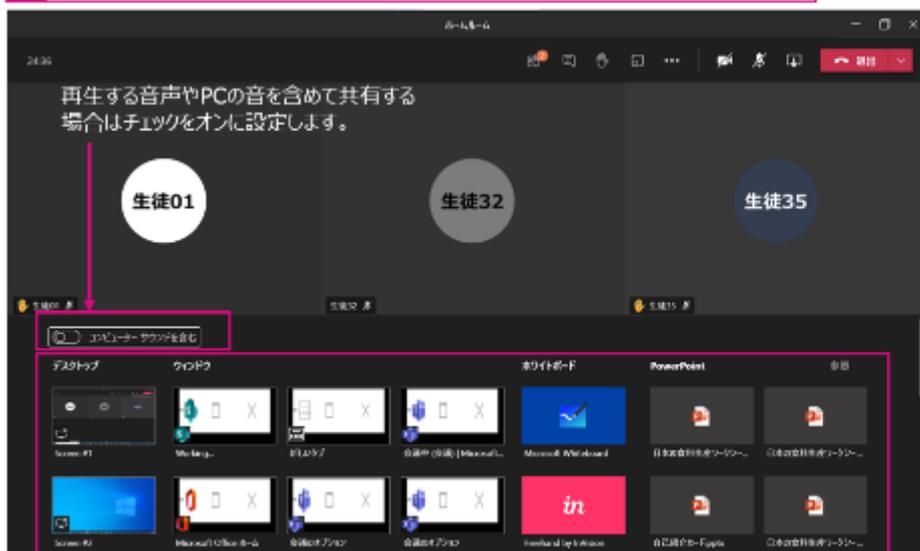
06 先生の画面を共有する

発表者の画面を共有することができます。共有する画面は、デスクトップ全体やウィンドウ別、またホワイトボードやPower Pointの画面を共有することができます。

1 [会議メニュー]から[画面共有]  をクリック

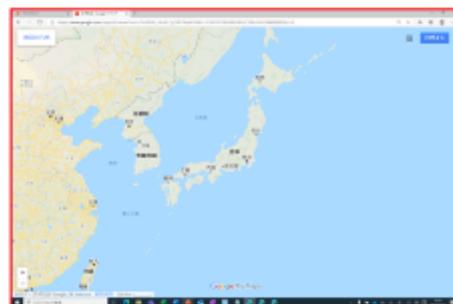


2 画面下側に共有元を選択する画面が表示されます。

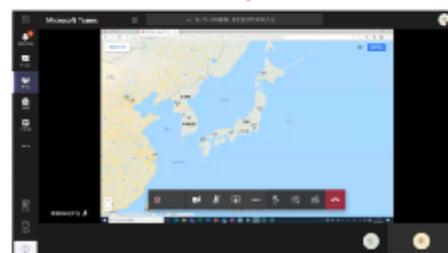


ポイント！

[画面共有]-[デスクトップ]はパソコンの画面全部が共有されますので、個人情報など見られたくない、データやアプリケーションが起動されていないか気を付けてください。



共有している画面は[赤枠]で囲われます。



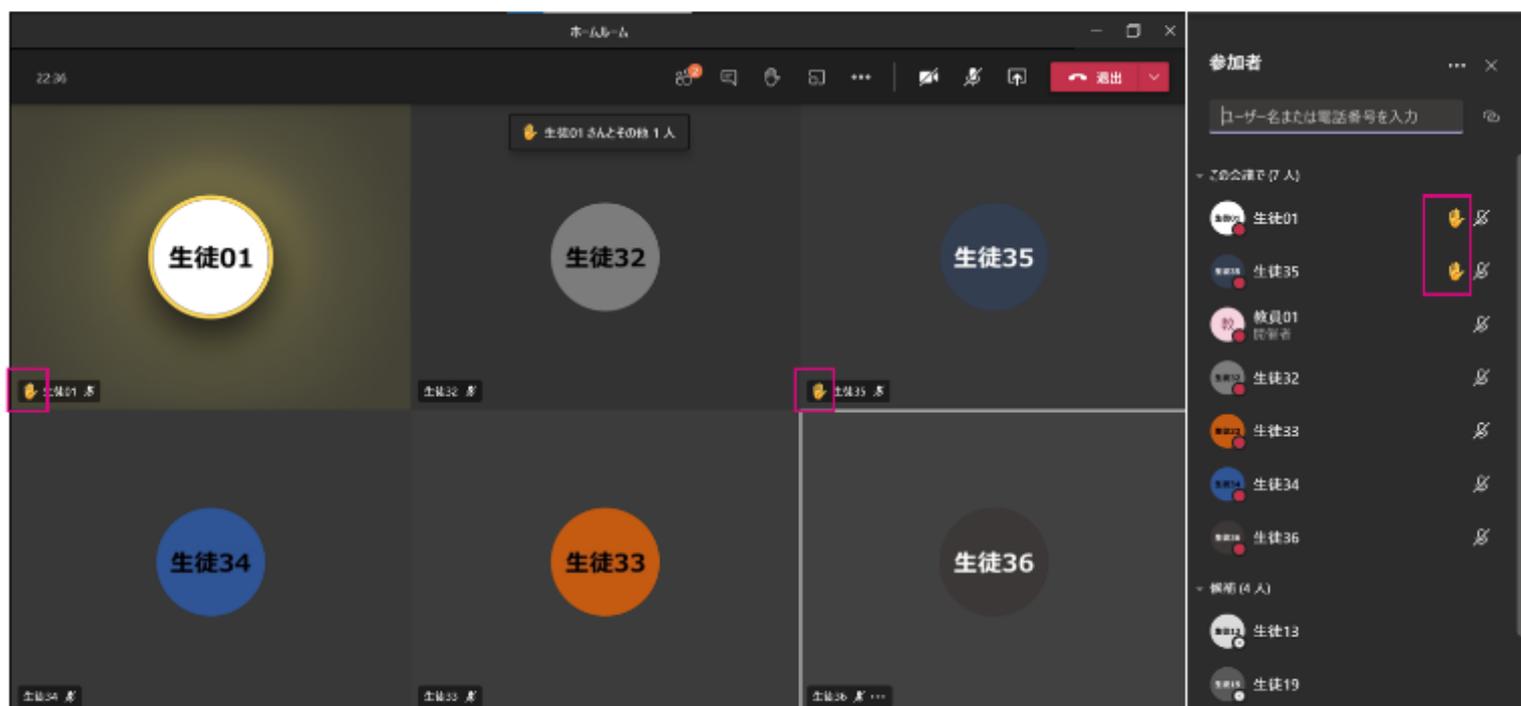
共有画面はTeamsのフレーム内に表示されます。

07 手を挙げる

質問があるときや、先生の発問に対して反応するときに便利です。挙手した児童・生徒は名前のあるところに、 マークが表示されます。

1 ① 会議の予定を表示したいチャンネルを選択します。
② 右上の[会議] > [⋮] > [会議をスケジュール]をクリック。

2 [タイトル]、時間を設定し、[送信]をクリック。



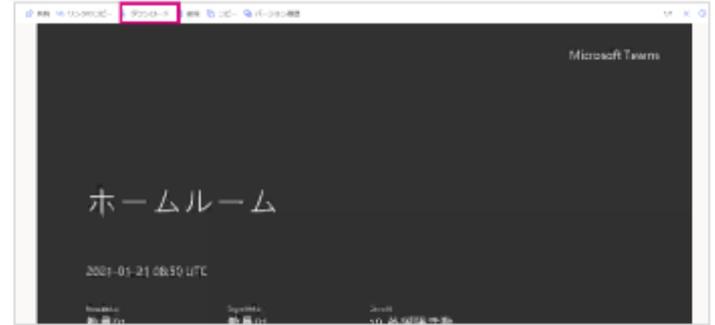
08 録画した授業を公開する

予定した授業（会議）に参加します。

- 1** 録画したファイルは、チーム内の[Share Point]に保存されます。リムネイル表示されている録画ファイルの[⋮] > [OneDriveで開く]をクリック。



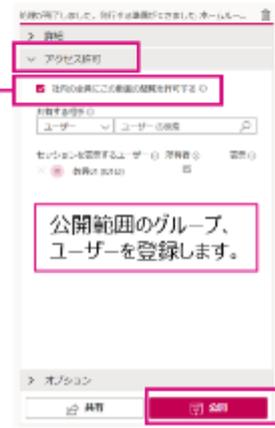
- 2** 動画が表示されます。公開する前にローカルディスクにダウンロードをします。



- 3** [Stream]を起動します。
[作成] > [動画のアップロード]をクリック。



- 4** ① [2]でダウンロードしたファイルをアップロードします。
② [アクセス許可]を選択し、公開の範囲を設定し、[公開]をクリック。



ポイント！
[社内の全員にこの動画の閲覧を許可する]にチェックを入れると同じ組織の全員が見えるようになるため、チェックは入れないでください。
(他校の人も閲覧可能になります。)

公開範囲のグループ、ユーザーを登録します。

09 グループで話し合う

大勢で授業や会議を行うと出席者同士のコミュニケーションが難しく、ちょっとした思い付きを口にしたり、ふとした疑問をその場で解消できない場合、会議を小グループに分割する[ブレイクアウトルーム]機能を活用するのが効果的です。ブレイクアウトルームは、最大50グループまで作成でき、参加者の割り当てを自動で行ったり、手動で割り振ることができます。

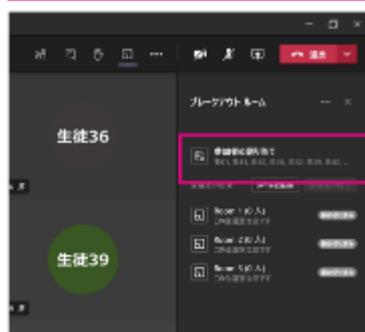
- 1** ① [会議]のメニューから[ブレイクアウトルーム]をクリックします。



- 2** [会議室]の数を設定します。参加者の割り当て方法を[自動]、もしくは[手動]を選択し、設定が完了したら[会議室を作成]を選択します。

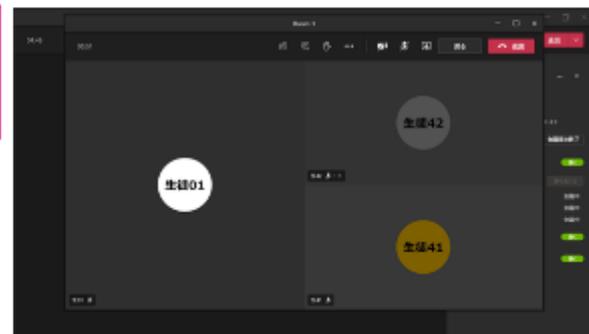


- 3** [参加者の割り当て]をクリック。
※上記2で[自動]を選択時



[手動]を選択時は、ここで各グループに割り当てるメンバーを設定します。

- 4** 元の授業ウィンドウとは別にグループの授業ウィンドウが表示されます。



10 ビデオの背景を設定する

オンラインで授業を行う場合、周囲の環境が気になる場合、背景をばかしたり、また背景ごと写真と入れ替えることができます。

1 授業に参加すると下記画面が表示されます。ビデオをオンにして、[背景フィルター] > [背景の設定]から好みの背景を選びます。尚、背景には自分で作成した背景を用いることも可能です。



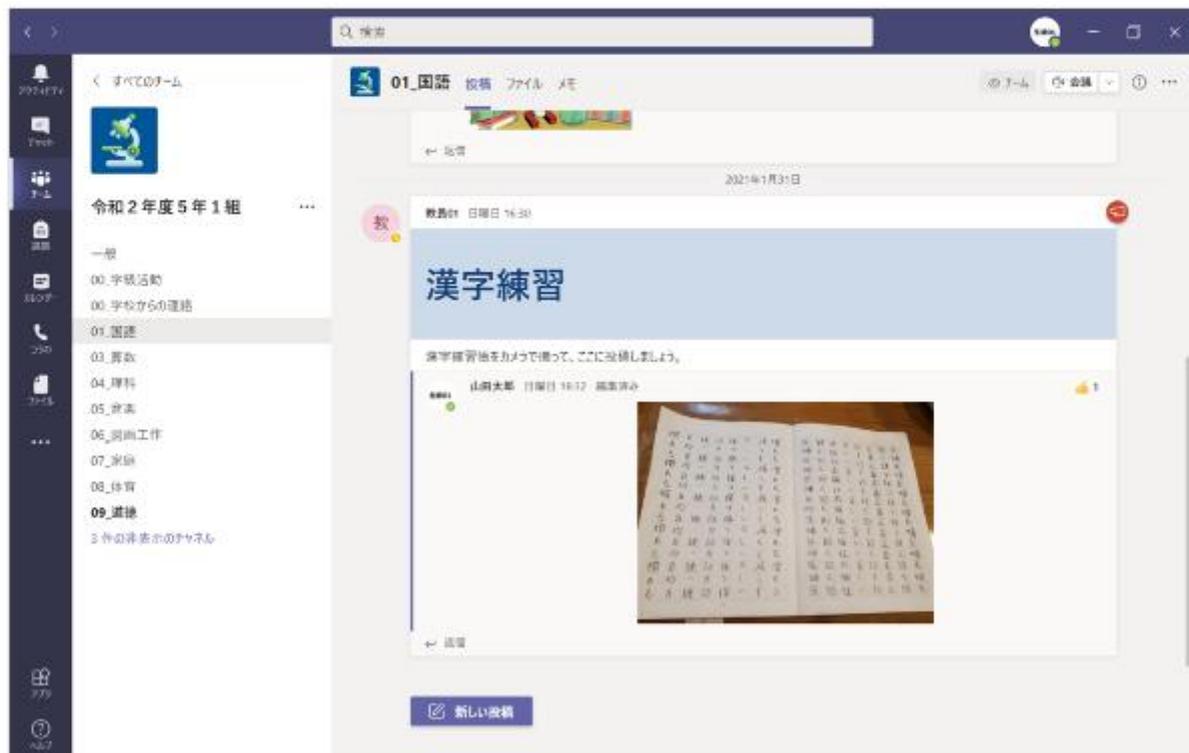
2 授業に参加しているメンバーの背景が気になる場合は、[集合モード]を利用することにより、背景を削除し、講義室等に配置することもできます。会議ツールバーの[⋮] > [集合モード]を選択します。ビデオがオンになっているメンバーが配置されます。



ポイント！
[集合モード]は参加人数が5人以上から有効になります。

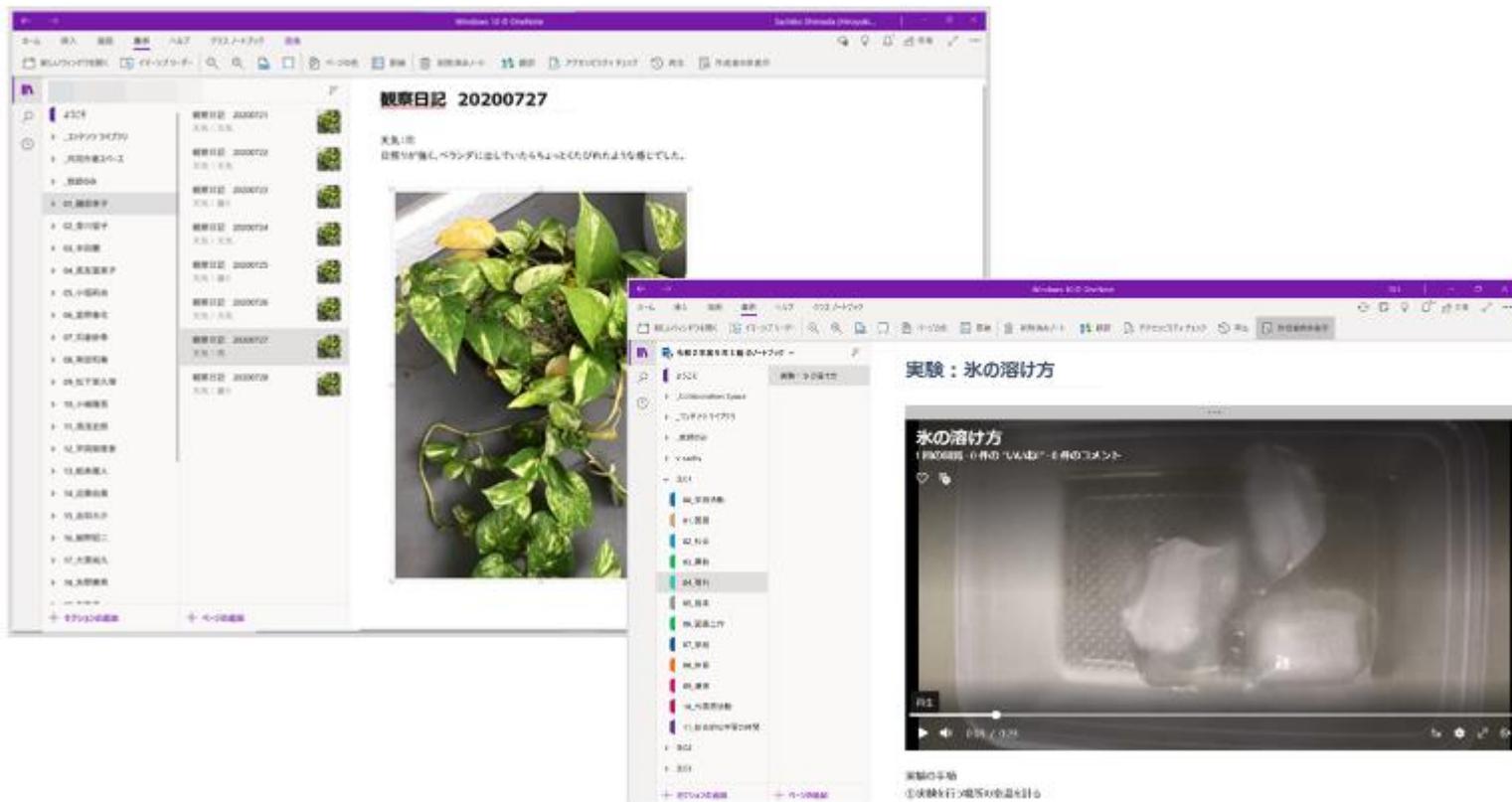
漢字練習を提出しよう（投稿）

漢字練習など、紙のノートに書いたものも、カメラで撮影して提出します。Teamsの[投稿]機能を使って提出すれば、友達の漢字練習も見ることができ、丁寧に書いている状態やたくさん書いているノートを見て、もっと頑張ろうとモチベーションアップにもつながります。漢字練習帳だけではなく、自宅で作成した工作や手芸作品の写真や動画もどんどん投稿してみましょう。



調べたことをまとめよう（クラスノートブック）

カメラで撮影した写真をOneNoteに取り込み、そこに手書きで気づきを書いたり、音声を追加したり、マルチメディアを使った観察日記を作ることができます。また、データはノート・セクション・ページと階層的に整理することができますので、自分の[学び]の蓄積をいつでも、見返すこともできます。



04

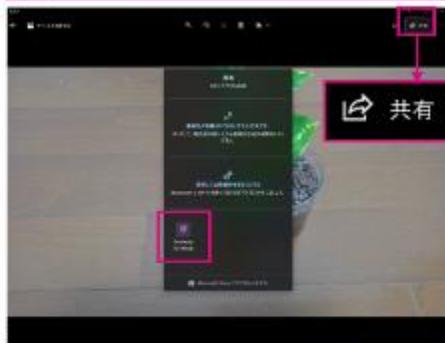
身近なものをカメラで撮ろう（カメラ・クラスノートブック）

カメラで撮影した写真は簡単にOneNoteに貼り付けることができます。毎日の観察日記など作成するのにとても便利です。ネット環境がない場所でも、ノートに書きこむことができ、後日学校のネットに接続した後、自動でクラスノートブックと同期（保存）されます。

1 カメラで撮影します。



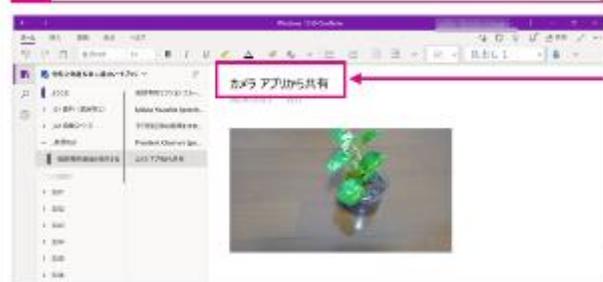
2 [共有] > [OneNote for Windows10]をクリック。



3 写真を貼り付けるOneNoteのセクションを選択し、[送信]をクリック。



4 OneNoteに貼り付けられました。



貼り付けるセクションはあらかじめ、OneNote側で選択しときます。

ページタイトルにセットされます。

05

みんなで調べよう（カメラ・クラスノートブック）

クラスノートブックには共同作業スペースがあります。クラスみんなで調べたことをまとめる場所として適しています。クラスノートブック（OneNote）はネット環境がなくても書きこむことができ、後日学校のネットに接続した後、自動で同期されます。下のノートは、家庭で食べているお米の米袋を調べて、その銘柄と産地をまとめたノートです（5年社会）。

クラスノートブックには「Collaboration Space」という共同作業スペースがあります。同じチームのメンバーで「ページ」を共有し、編集することができます。しらべたことを1つのページにまとめることができます。

産地（都道府県）	写真	品種	気になったこと	記入者
鳥取県		つや姫	お母さんが「つや姫」でおにぎりを作ってくれました。	山田太郎
新潟県		あきたこまち	秋田県以外にも「あきたこまち」があると知った。	田中花子

06

実験・実習手順を事前に確認しよう

同じ組織内のみで動画を共有することができる動画ストリーミングサービス「Stream」を使って、実験や実習の前に手順を確認します。ビデオはダウンロードすることもできるので、自宅にネット環境がなくても、視聴することができます。毎回も繰り返し視れるので、実験や実習など授業の時間を効率的に利用することができます。

対話機能

名前	表示済み	興味
基礎道具の準備と片...		3:38

[Forms]で作成した小テストを動画の視聴の前・中・後に設定可能。理解度チェックとして利用できます。

トレンドビデオの詳細

- 白玉焼きの作り方 (BGMなし) 2回のビュー
- 白玉焼きの作り方 6回のビュー

07

今日の体調を報告しよう

Formsを使って毎日の健康チェックを提出します。基準以上の発熱者や体調が悪い項目にチェックされた場合だけ、アラート通知する仕組みもPower Automateを使って、簡単に作成することができます。毎日のことだからこそ、簡単に、効率的な方法で健康チェックが行えます。

健康チェック表（新型コロナウイルス感染症対策用）

感染症対策のために毎日の健康観察が大切です。毎日、体調を測り、体調のチェックをしてください。37.5℃以上の熱があった場合は、数値を改めて再度測ってください。

本邦さん、このフォームを送ると、所有者にあなたの名前とメールアドレスが表示されます。

必須

1. 今朝の体温 *

値は数値にする必要があります

2. いつもと違う症状がある場合にチェックを入れてください。 *

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 食欲がない | <input type="radio"/> |
| 咳が出る | <input type="radio"/> |
| 息苦しさがある | <input type="radio"/> |
| 倦怠感がある | <input type="radio"/> |
| のどに痛みがある | <input type="radio"/> |
| においや味がわからない | <input type="radio"/> |

健康チェック 送信 フォーム 印刷 +

本邦さん、このフォームを送ると、所有者にあなたの名前とメールアドレスが表示されます。

本邦さん、今朝の体温が37.5℃以上の熱があったため、教員チームに報告しました。今日の体温は37.5℃です。

返信

教員チーム

返信

体温が37.0以上の記入の場合、Teamsの教員チームにメッセージで通知

オンライン「朝会」に出席しよう

Teamsのオンライン会議（授業）機能を利用して、先生と子どもが顔を合わせ、“つながる”を実現します。天候や感染症の流行などで、学校に登校できない場合でも、規則正しい生活が送れるよう、また子どもが元気に生活している姿をビデオ画面や音声を通じて確認し、子どもの安全を守ります。



[つながりタイム]を作ろう。

コロナ禍の中、先生や友達と自由に会ったり、話したりすることが難しいときもあります。学校休校の時、あらかじめ時間を決めて、クラスで[つながりタイム]を設けましょう。

宿題の分からないところを先生に質問したり、みんなで「しりとり」をしたり、自由に話す時間を作ってみませんか？

質問です



学校から家庭にお便りを送る（一斉連絡）

学校からの連絡にTeamsの[投稿]が大変便利です。電話の連絡網を使っている学校もあったかと思いますが、Teamsを使うことにより、一斉同時に連絡をすることができます。「通知」や「承認」機能を使えば、未読・既読の管理も行えます。

00_学校からの連絡 投稿 ファイル メモ +

教員01 18:18

お弁当を忘れずに

明日（7/15）は給食はありません。お弁当を持ってきてください。
令和2年度5年1組

7/15は給食センターがお休みのため、給食がありません。自宅から昼食を持ってきてください。

← 返信

Teamsを通して、授業の持ち物や連絡をすることができます。
@（メンション）を付けて連絡することにより、子どものPC画面に連絡がきたことを示す「通知」もされるので、見落とすことも少なくなります。

「アナウンス」機能。メッセージ目立たせることができ、見落としを防ぎます。

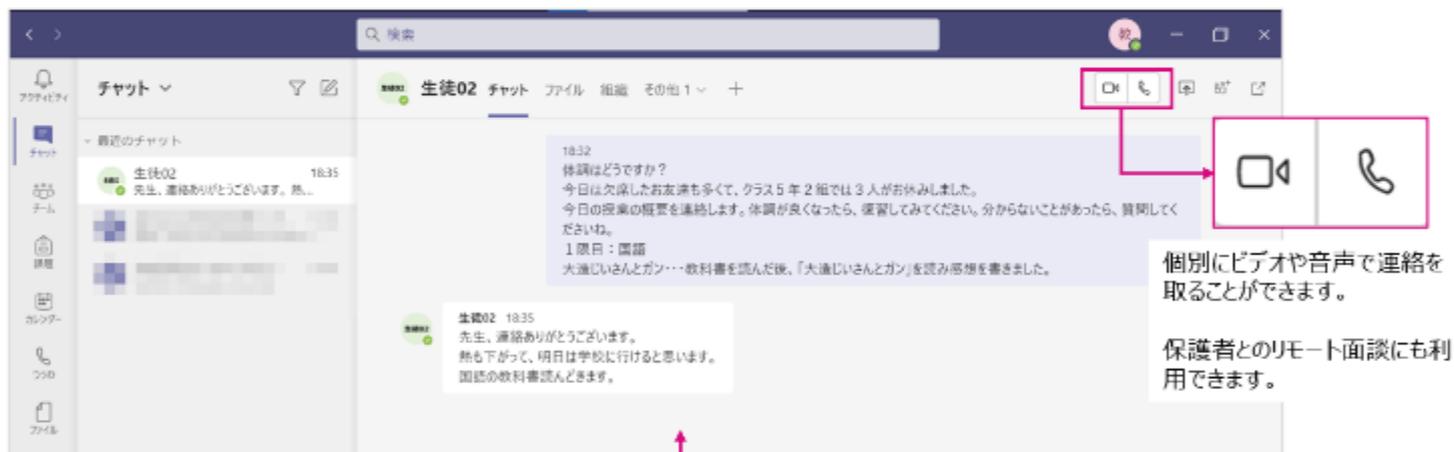
新しい投稿

学校と家庭との連絡（個別連絡）

Teamsでは個別、あるいは特定のメンバーとチャットを通じて連絡を取り合うことができます。

テキストメッセージはもちろん、ビデオや音声でもコミュニケーションを取ることができます。学校を休んだ子どもに、授業の内容を連絡したり、先生にちょっと相談したいなど、個別に会話をしたい場合に便利です。

尚、子ども同士のチャットは禁止する設定を行うことも可能です。



個別にビデオや音声で連絡を取ることができます。

保護者とのリモート面談にも利用できます。

テキストメッセージはもちろん、授業の板書の写真やファイルを添付することもできます。



学校行事のオンライン配信 < 全校集会編 >

Teams for Education を活用した、オンラインでの学校行事の配信方法を必要機器の事前準備から配信まで画面のキャプチャとともに解説しています。職員室からの全校集会、クラス単位での朝会など、簡易的な行事を配信したい場合にご活用ください。



学校行事のオンライン配信 < 校外学習編 >

Teams for Education を活用した、オンラインでの学校行事の配信方法を必要機器の事前準備から配信まで画面のキャプチャとともに解説しています。体験学習、修学旅行、社会科見学など校外学習の訪問先からの配信時にご活用ください。

[Teams 学校行事配信マニュアル](https://microsoft.com)
-1 全校集会編 (microsoft.com)

[Teams 学校行事配信マニュアル](https://microsoft.com)
-3 校外学習編 (microsoft.com)



学校行事のオンライン配信 < 文化祭編 >

Teams for Education を活用した、オンラインでの学校行事の配信方法を必要機器の事前準備から配信まで画面のキャプチャとともに解説しています。文化祭や運動会、オープンキャンパスなどの学校行事を複数シーン配信される際にご活用ください。

[Teams 学校行事配信マニュアル](https://microsoft.com)
-4 文化祭編 (microsoft.com)

お役立ち資料



[GIGA スクール構想ご案内パンフレット](#)



[ICT 教育で重視すべきポイント解説](#)



[オンライン授業サポートアプリの使い方](#)



[教育クラウドにおけるセキュリティ解説](#)



[Windows 端末の展開手順](#)